

播磨社会復帰促進センターを見学しよう！！

昨年に続き、今年も北支部は一泊研修を行います。

研修先は、日本の拘置所の中でも数少ない、民間と協働で運営されている、播磨社会復帰センターです。詳細行程は決まっていますが、9月10日(金)・11日(土)で行います。参加希望の方は、7月15日までにFAXでお申し込みください。

(見学先から、見学予定者のリスト提出が求められています。かなり細かな情報を必要としています。申し訳ありませんが、すべてご記入ください。)

お申し込み：06-6486-9933 (FAX) 岡田まで

| | | | |
|-----|----|-----------|----|
| お名前 | | 住所 | |
| 性別 | 年齢 | 連絡のつく電話番号 | 職業 |

大阪社会福祉士会 北支部通信

2010年 7月号

キタ！からきたい！ だより 第22号

支部活動に関するご質問・ご要望は以下のメールアドレスにご連絡ください。

kitashibu@msakane.net 北支部宛

コラムVol.3

日本における社会福祉の歴史は行政中心に行われてきました。しかし、2000年の社会福祉基礎構造改革により、措置から契約へ、介護保険法の施行により福祉とりわけ介護の分野において営利企業により市場参入が始まりました。

そのことにより利用者は幅広いサービスが使えるようになった一方で、2007年のコムスの不正請求による介護保険事業所取り消しの事件のように、福祉の営利追求体制が及ぼす負の側面も問題になりました。

そのような中、福祉の世界でも行政でも市場でもなく、市民の力で社会福祉を支えていく力が芽生えてきています。1998年に特定非営利活動促進法が施行されて以降、NPO法人格として運営する法人が増加しています。昨今の社会問題が複雑化かつ横断した支援が必要になっています。

社会福祉士においてもキャリアパスとして「専門社会福祉士」や「認定専門社会福祉士」という新たな資格体系が試案されています。その位置づけとしては「地域を担う社会福祉のリーダー」であり、市民の力で担うNPOと社会福祉士とが今後どのようにして手を取り合って地域社会を支えていくか、そのことに今後、社会福祉士が行かせるフィールドのヒントが隠れています。

大阪北支部副支部長 三好通裕